

宮脇遺跡 第 62 地点

遺跡名	宮脇遺跡
よみがな	みやわきいせき
調査地点	第 62 地点
主な時代	平安時代（約 1200 年前）
調査地	富士見市羽沢 3 丁目 596-7
調査面積	131.77 m ²
調査期間	令和元年 12 月 7 日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 平安時代の竪穴住居跡 1 軒</p> <p>【出土した主な遺物】 須恵器片、土師器片</p> <p>【概要】</p> <p>宮脇遺跡は、北東側に沖積低地を臨んだ武蔵野台地縁辺部立地しています。当遺跡ではこれまでに 60 軒以上の古代の竪穴住居跡が確認されており、本地点においても平安時代の竪穴住居跡 1 軒が確認されました。</p> <p>竪穴住居跡南半部は調査区域外へ延びているため、竪穴住居跡の北半部しか調査できませんでしたが、住居跡の壁際に壁溝と呼ばれる溝が巡っていることが確認できました。住居跡内からは須恵器片や土師器片などが出土しています。</p>



人力で表土を掘削していきます



確認された竪穴住居跡（黒色部分が住居跡）



平安時代竪穴住居跡完掘状況



表土から深さ 50 cm 程で住居跡が確認されました